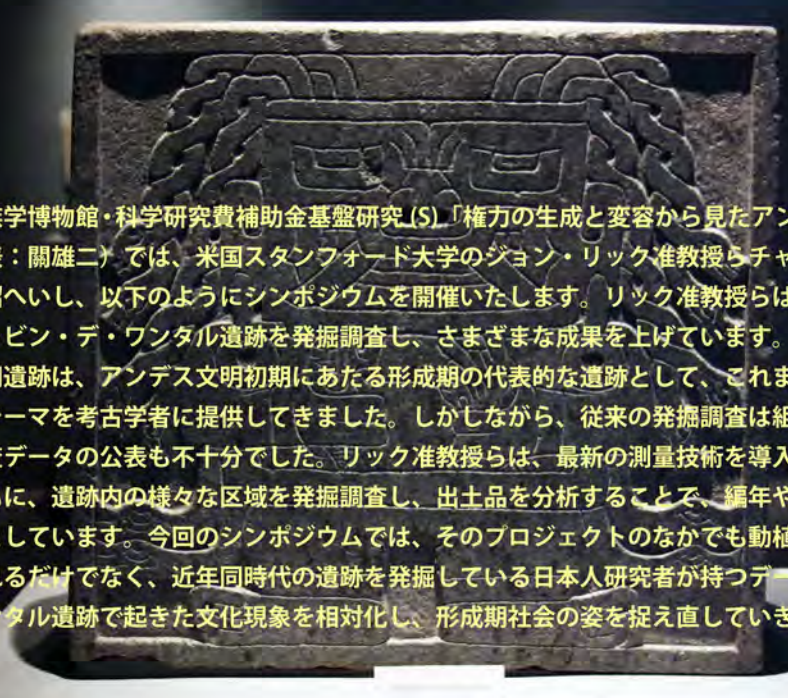


International Symposium

Comparative Studies among the Formative Period Cultures in the Andes

日時 2014年 **11**月 **29**日 (土) 10:00 ~ 18:30
会場 国立民族学博物館 第6セミナー室



このたび、国立民族学博物館・科学研究費補助金基盤研究(S)「権力の生成と変容から見たアンデス文明史の再構築」プロジェクト(代表:関雄二)では、米国スタンフォード大学のジョン・リック准教授らチャビン・プロジェクトの中心メンバーを招へいし、以下のようにシンポジウムを開催いたします。リック准教授らは、現在、ペルー中部高地に位置するチャビン・デ・ワンタル遺跡を発掘調査し、さまざまな成果を上げています。ユネスコの世界遺産に登録されている同遺跡は、アンデス文明初期にあたる形成期の代表的な遺跡として、これまで文明起源論、図像研究など数多くのテーマを考古学者に提供してきました。しかしながら、従来の発掘調査は組織、体制の面で多くの問題を抱え、調査データの公表も不十分でした。リック准教授らは、最新の測量技術を導入し、詳細な建築データを収集するとともに、遺跡内の様々な区域を発掘調査し、出土品を分析することで、編年や空間の利用、儀礼の復元などに迫ろうとしています。今回のシンポジウムでは、そのプロジェクトのなかでも動植物の利用についての分析結果が披露されるだけでなく、近年同時代の遺跡を発掘している日本人研究者が持つデータとの比較を通して、チャビン・デ・ワンタル遺跡で起きた文化現象を相対化し、形成期社会の姿を捉え直していきたいと考えています。

■プログラム■

- 10:00 -10:20 "Introduction" Yuji Seki (National Museum of Ethnology)
- 10:20 -11:20 "Dietary Change in the Late Formative Period" Mai Takigami (Yamagata University), Minoru Yoneda (The University of Tokyo)
- 11:20 -12:20 "Burnt Palms and Cultivated Corn: Macrobotanical and Phytolith Evidence from Chavín de Huántar" Matthew Sayre (University of South Dakota)
- 12:20 -13:30 Lunch
- 13:30 -14:30 "Hunting to Herding: Understanding the Subsistence Change in the Formative Period" Kazuhiro Uzawa (University of East Asia)
- 14:30 -15:30 "Meat on the Bone, Meat out of the Bone: Ch'arki and Bone Tools at Chavín de Huántar" Silvana A. Rosenfeld (University of South Dakota)
- 15:30 -15:45 Break
- 15:45-16:15 "Bioarchaeology of human skeletal remains from Pacopampa in the northern highland of Peru" Tomohito Nagaoka (St. Marianna University School of Medicine)
- 16:15-17:15 "The 2014 Field Season in Chavín de Huántar: Implications for Chavín-Period Ritual Architecture and Activity" John Rick (Stanford University), Rosa Grimalda Mendoza Fernandez de Rick
- 17:15-18:30 Discussion

■一般公開 参加無料 申込不要 定員: 20名 [先着順]

■使用言語 英語(討論はスペイン語可)(通訳なし)

■主催 国立民族学博物館・科学研究費補助金基盤研究(S)「権力の生成と変容から見たアンデス文明史の再構築」(研究代表者:関雄二)

■協力 古代アメリカ学会

■問合せ先 国立民族学博物館 関研究室 E-mail: sekiken@idc.minpaku.ac.jp